

平成26年度市民公開講座等一覧(平成27年3月31日現在)

内容	学部・研究科	講座名	定員	応募者数	日数	証べ受講者数	受講者数	講師人数 <small>(専任教員以外)</small>	受講料	開催日	開催場所	
市民公開講座	医学研究科 《第1講座》	健康寿命をのばすためにできること	300	185	1	116	116	3	500	平成26年11月22日(土) 13:00~17:00	桜山キャンパス、さくら講堂	
	薬学研究科 《第2講座》	身近なくすりの「常備」と「服薬」と「未来」	150	176	1	133	133	3	500	平成26年11月1日(土) 13:00~16:20	田辺キャンパス 講堂・図書棟1階 宮田尊治記念ホール	
	経済学研究科 《第3講座》	少子高齢化と日本経済-年金に与える影響	100	132	1	104	104	2	500	平成26年11月24日(月) 13:00~15:00	滝子キャンパス、3号館 101教室	
市民公開講座	人間文化研究科 《第4講座》	Open the Door to the World -豊かに生きるために-	80	72	1	56	56	1	500	平成26年10月18日(土) 13:00~14:30	滝子キャンパス、1号館 203教室	
	芸術工学研究科 《第5講座》	ハリウッド・ポスター-物語の歴史的背景-〜イギリスのお城と常習学校に見る階級制度〜	80	52	1	34	34	1	500	平成26年11月8日(土) 14:00~15:30	滝子キャンパス、2号館 401教室	
	看護学部 《第6講座》	アメリカン・ドリームのかたち〜人種、階級と「グレート・ギャップ」〜	60	47	1	36	36	2	500	平成26年10月25日(土) 13:30~16:00	北千種キャンパス 芸術工学棟 M101教室	
	システム自然科学研究科 《第7講座》	情報社会における身体〜コンピュータと身体はいかにしてつながるか?〜	100	82	1	44	44	3	500	平成26年12月6日(土) 13:30~15:00	桜山キャンパス 看護学部棟 303講義室	
	6研究科+1学部	がんと上手につきあう	140	113	1	80	80	2	500	平成26年11月9日(土) 10:00~12:00	桜山キャンパス 医学研究科・医学部研究 実習11階 講義室A	
	医学研究科	食の安全・安心にかかわる最先端科学〜混入薬物と遺伝子操作〜	1,010	859	8	603	603	17	0			
	医学研究科	のべ8講座	80	149	8	1030	144	8	8,000	平成26年6月6日〜7月25日 毎週金曜日 18:30~20:00	桜山キャンパス 医学研究科・医学部研 究棟 11階講義室A	
	医学研究科	第1期:「認知症のすべて-臨床症状、神経病理、予防-治療薬開発の最新線、精神症状から介 護まで」 第2期:「心血管病最新線 - 予防から先端治療まで-」 第3期:「高齢化社会・環境変化とともに変化する呼吸器疾患」	80	104	8	682	96	8	8,000	平成26年9月5日〜10月24日 毎週金曜日 18:30~20:00	桜山キャンパス 医学研究科・医学部研 究棟 11階講義室A	
	人間文化研究科	Human & Socialサイエンス・カフェ	30	185	5	148	148	5	1,000	平成26年4月12日(土)~平成27年2月14日(土) 15:00~17:00	サクラサテラス	
	システム自然科学研究科	マンデーサロン	50	107	7	107	107	13	0	平成26年5月26日(月)~平成27年1月26日(月) 18:30~19:00、平成27年3月23日(月)18:00~ 18:30	滝子キャンパス、1号館 1階会議室	
なご看護生進路学習セミナー	看護学部	サイエンスカフェ イン 名古屋【第8回~第9回】	30	530	12	519	519	14	600	平成26年4月18日(金)~平成27年3月20日(金) 18:00~20:00	ナディアパーク階 7th floor(セブンスカ フロ)	
	看護学部	看護研究セミナー 1.看護研究いろはの「い」	30	24	2	41	24	1	2,000	平成26年9月5日、9月19日 金曜日 18:30~20:30		
	看護学部	看護研究セミナー 2-1.看護研究いろはの「ろ」	20	24	1	20	20	1	1,500	平成26年10月18日(土) 9:30~12:30		
	看護学部	看護研究セミナー 2-2.看護研究いろはの「は」	20	21	1	14	14	1	1,500	平成26年10月18日(土) 13:30~16:30		
	看護学部	看護実践セミナー 1.敗血症性ショックとARDS 一病態理解から治療戦略まで-	20	12	3	27	10	1	3,000	平成26年10月3日、10月17日、10月31日 金曜 日 18:30~20:30	桜山キャンパス 看護学部棟内	
	看護学部	看護実践セミナー 2.患者急変対応「何か愛、と思ったとき...」	20	20	1	17	17	4	3,000	平成26年11月15日(土) 9:30~16:30		
	看護学部	看護実践セミナー 3.チーム医療の質と患者安全を向上させるシナジーカルスキル	20	16	1	12	12	1	3,000	平成26年12月20日(土) 9:30~16:30		

内容	学部・研究科	講座名	定員	応募者数	日数	延べ受講者数	講師数		受講料	開催日	開催場所
							人数	学外講師数(内数)			
シンポジウム	人間文化研究所	ESD研究会講演会「里山に生きる未来の暮らしのあり方をひらく」	30	10	1	10	1	0	平成26年7月25日(金)17:00～18:30	滝子キャンパス 1号館 1階会議室	
	人間文化研究所	上教幸とアワードのタベ「大川黒子監督作品「真境」中の故郷ーリービ英雄50年ぶりの台中再訪」上映会&ディスカッション」	50	40	1	40	4	0	平成26年10月18日 16:30～18:30	滝子キャンパス1号館 1階会議室	
	人間文化研究所	シンポジウム「日本文学における越境の解明」	50	40	1	40	9	0	平成26年10月25日(土) 13:00～18:00	滝子キャンパス1号館 1階会議室	
	人間文化研究所	ESD公開シンポジウム「中部の『里山資本主義』」	200	130	1	130	3	0	平成26年11月8日(土) 16:00～18:20	滝子キャンパス 1号館 201教室	
	人間文化研究所	人間文化研究科シンポジウム「リニアで名古屋はどう変わるか」	120	82	1	82	4	0	平成26年11月29日(土) 13:00～16:00	桜山キャンパス 本部棟 4階ホール	
	人間文化研究科 「まちづくり」に関する参加型 異例的調査手法の開発的研究	セミナー「聞き書きをもとめた地域づくりの可能性」	50	90	1	90	6	0	平成26年12月13日(土) 13:00～16:30	桜山キャンパス 看護学部棟 301教室	
	人文社会学系 ・東海社会学会他	第8回社会調査インターカレッジ発表会	100	241	1	241	0	0	平成26年10月25日(土) 12:00～18:00	滝子キャンパス1号館 2階(201, 203, 204教室)	
	芸術工学研究科	市民公開プログラム「ハーバード大学 ハンス・ツチュク教授 レクチャーコンサート「電子音響音楽の現在」	350	-	1	20	2	0	平成26年7月1日(火) 17:00～	北千種キャンパス 大講堂(図書館2階)	
	22世紀研究所	22世紀研究所講演会「国際機関ではたらく自分、は実現できるか？」	266	154	1	154	1	0	平成26年11月21日(金) 10:40～12:10	田辺キャンパス 宮田善治記念ホール	
	医学研究科	第22回患者さんと御家族のための腎臓病セミナー～腎不全にならない為には～	300	117	1	117	3	0	平成26年10月5日(日) 13:30～16:00	名古屋市立大学附属病院ホール (病棟・中央診察棟3階)	
患者さんと御家族のためのセミナー	医学研究科	第17回患者さんと御家族のための高血圧セミナー～脳卒中や心臓病にならないためには～	300	241	1	241	4	0	平成26年6月22日(日) 13:30～16:00	名古屋市立大学附属病院ホール (病棟・中央診察棟4階)	
	医学研究科	第20回患者さんと御家族のための腎臓病セミナー～腎不全にならない為には～	300	138	1	138	5	0	平成27年3月1日(日) 13:30～16:00	名古屋市立大学附属病院ホール (病棟・中央診察棟3階)	
	医学研究科	第11回高血圧の管理と健康長寿	300	330	1	330	4	0	平成26年11月30日(日) 13:30～16:00	名古屋市立大学附属病院ホール (病棟・中央診察棟3階)	
	医学研究科	東海薬学教育コンソーシアム 研修会「新しい薬学臨床教育を考えるワークショップ」	30	30	1	29	1	0	平成27年1月24日(土) 15:00～17:00	名指大学薬学部 新1号館5階 医薬情報センター	
	薬学研究科	春の薬草園の市民公開	75	190	2	150	1	0	平成26年5月9日(金)、5月10日(土) 10:00～12:00	田辺キャンパス 東用植物園地	
	薬学研究科	秋の薬草園の市民公開	75	191	2	152	1	0	平成26年10月3日(金)、10月4日(土) 10:00～12:00	田辺キャンパス 東用植物園地	
	看護学部	第2回地域連携セミナー「地域で見守る子育て支援社会 ～児童虐待をなくすために～」	100	53	1	55	1	0	平成26年7月12日(土) 13:00～15:00	桜山キャンパス 看護学部棟 308講義室	
	市大附属病院	丸わかり 腎臓病「慢性腎臓病(CKD)とは…?」他	-	181	6	181	6	0	平成26年4月10日(木)、6月19日(木)、 8月18日(月)、10月14日(火)、12月1日(月)、 2月2日(月)	名古屋市立大学附属病院 徳川館看護学実習センター (病棟・中央診察棟1階)	
	医学研究科 ・南アフリカ共和国大使館 ・南アフリカ共和国大使館	南アフリカ共和国大使館サイエンスカフェシリーズ「ケープタウン大学と名古屋市立大学による結核予防への挑戦～お茶と結核の関係～」	30	20	1	14	2	1	0	平成26年11月13日(木) 15:00～16:30	桜山キャンパス 医学研究科 医学部研究棟 臨床セミナー室
	名古屋工業大学共催 経営トップセミナー	産業界のあり方をめぐって	-	48	1	48	6	4	0	平成26年12月17日(水)13:30～16:40	滝子キャンパス 2号棟 209教室
千種生涯学習センター共催 連携講座	芸術工学研究科	「芸術工学の諸相2 - 建築・都市・数学・映像 -」	40	50	4	144	50	0	平成26年10月6日、10月20日、11月10日、11月17日 月曜日 13:30～15:00	北千種キャンパス 芸術工学部管理棟 A305	
	看護学部	シリーズ公開講座「性と生-見つめてみませんか“ココロとカラダ”」	100	59	4	59	4	1	0	平成26年11月20日(木)～平成27年2月19日(木) 17:30～19:00 毎月第3木曜日	桜山キャンパス 看護学部棟 308講義室
	経済学研究科	お父さん、お母さんはどんな仕事をしているんだろう?～親子の会社見学～	20	111	4	76	22	1	0	平成26年7月23日(火)、24日(木)、29日(火)、 31日(木) 13:30～15:00	大府特殊鋼製地テクノセンター、中部日本放送(株)、パナソニック エレクトロニクス(株)、中日新聞(株)

内 容	学部・研究科	講 座 名	定 員	応募者数	日数	延べ受講者数	受講者数	講 師 数		受講料	開 催 日	開 催 場 所
								人 数	学外講師数 (内数)			
女性会館女性推進講座	経済学研究科	女性と経済～今こそ女性のチカラを生かすとき～	40	33	4	82	25	4	0	平成26年5月30日、6月13日、6月20日 金曜日 及び6月5日(木)	名古屋市女性会館 第4集金室	
	人間文化研究科	イギリスにみる女性たち	40	39	4	98	32	3	0	平成26年10月14日～11月4日 毎週火曜日 10:00～12:00	名古屋市女性会館 第4集金室	
			7,232	6,429	347	13,420	6,090	285	78	-	講座数	97

★記入上の注意事項：
・「受講者数」について…連続講座の場合で、同じ受講者が複数回受講する講座の場合は、講座申込者の数を記載する。毎回受講者を募集するような講座の場合は、各回のトータルの受講者数を記載する(延べ受講者数と同数となる)。
・記載するイベントについて…この表に記入する講座、講演会、シンポジウムは、本学が主催で実施するもののみ(共催含む)。

【年度計画70】

「第17回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2014～」開催結果

1. 開催規模及び来場者数

開催期日	平成26年5月23日(金)～25日(日)		
会場	ポートメッセなごや 3号館		
展示規模	124社・団体、441小間 (昨年比△4社・団体、+51小間)		
来場者数	70,228人 (昨年比△786人)		
内訳	第1日目 23日(金)	天候：晴れ	25,935人
	第2日目 24日(土)	天候：晴れ	22,304人
	第3日目 25日(日)	天候：曇り	21,989人

2. 市立大学の協力内容

(1) ウェルフェア健康大学

区分	聴講者数
あなたは他人まかせでお薬を飲んでいませんか?～患者に必要なお薬の基礎知識 5か条～ 名古屋市立大学 医学研究科 教授 木村 和哲 氏	75人
身のまわりの毒を知って安心・安全な生活 名古屋市立大学 医学研究科 教授 酒々井 眞澄 氏	66人
脳の発達と環境：幼児や小児への教育 / 療育のコツはなにか? 名古屋市立大学 医学研究科 教授 飛田 秀樹 氏	74人
感染症から身を守るために 名古屋市立大学 医学研究科 病院教授 中村 敦 氏	83人
アレルギー性鼻炎・花粉症の治療 名古屋市立大学 医学研究科 准教授 鈴木 元彦 氏	94人
増加する前立腺癌：最新の診断・治療 名古屋市立大学 医学研究科 准教授 戸澤 啓一 氏	62人
いい睡眠をして健康になろう 名古屋市立大学 医学研究科 准教授 中山 明峰 氏	150人
高齢者の目の病気の予防と治療 名古屋市立大学 医学研究科 准教授 安川 力 氏	62人
かかりつけ歯科医を持ちましょう 名古屋市立大学 医学研究科 講師 重富 俊雄 氏	17人
薬の用法用量を考える 名古屋市立大学 薬学研究科 教授 湯浅 博昭 氏	56人
生活習慣病予防～笑いの体操でストレスと上手につきあいましょう～ 名古屋市立大学 看護学部 准教授 池田 由紀 氏	92人
自立のための運動習慣!～押さえるべき要点とは～ 名古屋市立大学 システム自然科学研究科 教授 高石 鉄雄 氏	97人
合計	928人

(2) 名古屋市立大学病院看護部・ブース出展 参加者数：653人

【年度計画74】

国際交流協定校一覧

1. 交流協定校一覧 (30校/17か国)

(平成27年3月31日現在)

	大学名	国名	都市	対象学部	締結年月
大学間交流協定 (25校/16か国)					
1	南カリフォルニア大学	アメリカ	ロサンゼルス市	薬	平成4年9月
2	ウィチタ州立大学	アメリカ	ウィチタ市	システム	平成14年12月
3	ニューサウスウェールズ大学	オーストラリア	シドニー市	全学	平成19年1月
4	トリノ工科大学	イタリア	トリノ市	芸工	平成13年1月
5	パドヴァ大学	イタリア	パドヴァ市	全学	平成23年2月
6	パリ第13大学	フランス	パリ市	全学	平成19年5月
7	サンティエティエンヌ大学アート・デザイン学校	フランス	サンティエティエンヌ市	全学	平成22年6月
8	ライプツィヒ応用科学大学	ドイツ	ライプツィヒ市	全学	平成21年3月
9	ルートヴィクスハーフェン経済大学	ドイツ	ルートヴィクスハーフェン市	全学	平成23年12月
10	ペーチ大学	ハンガリー	ペーチ市	全学	平成19年1月
11	マドリッド工科大学	スペイン	マドリッド市	全学	平成24年9月
12	南京医科大学	中国	南京市	医・薬	平成14年11月
13	瀋陽医学院	中国	瀋陽市	全学	平成20年12月
14	中央民族大学	中国	北京市	全学	平成22年6月
15	瀋陽薬科大学	中国	瀋陽市	全学	平成22年8月
16	黒竜江中医薬大学	中国	ハルビン市	全学	平成25年10月
17	ハルリム大学	韓国	春川市	全学	平成18年11月
18	南ソウル大学	韓国	天安市	全学	平成23年4月
19	コロombo大学	スリランカ	コロombo市	全学	平成19年1月
20	マレーシア国民大学	マレーシア	セランゴール州バンギ	全学	平成22年3月
21	ベトナム国立大学ホーチミン校	ベトナム	ホーチミン市	全学	平成22年3月
22	シャルジャ大学	アラブ首長国連邦	シャルジャ市	全学	平成23年6月
23	サント・トーマス大学	フィリピン	マニラ市	全学	平成24年11月
24	ハジェテペ大学	トルコ	アンカラ市	全学	平成26年10月
25	国立モンゴル医科大学	モンゴル	ウランバートル市	全学	平成27年3月
学部間交流協定 (5校/5か国)					
1	メリーランド芸術大学	アメリカ	バルティモア市	芸術工学部	平成25年4月
2	ハレ・ヴィッテンベルク・マルティン・ルター大学	ドイツ	ハレ市・ヴィッテンベルク市	人文社会学部	平成7年2月
3	ノッティンガム大学	イギリス	ノッティンガム	芸術工学部	平成24年12月
4	中国社会科学院日本研究所	中国	北京市	経済学部	平成9年10月
5	檀国大学	韓国	龍仁市	芸術工学部	平成25年6月

2. スタディーアブロードプログラム (2校/2か国)

	大学名	国名	都市	対象学部	締結年月
1	バックネル大学	アメリカ	ルイスバーク市	人文社会学部国際文化学科	平成16年11月
2	クィーンズ大学 BISC	イギリス	ヘールシャム市	人文社会学部	平成19年5月
				経済学部	平成20年9月

皮膚・排泄ケア認定看護師のご紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡(床ずれ)などの創傷や、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)及び失禁などの排泄に関わる分野を専門としています。私は皮膚・排泄ケアに携わる看護師として、褥瘡やストーマ、失禁等の排泄に伴う問題をお持ちの方々に入院中から退院後にも療養生活を円滑に過ごせるようサポートしています。

外来では看護保健指導室においてストーマに関する相談を受けています。自宅での生活では入浴や外出など入院中には経験することのなかった行動がたくさんありますので、一人ひとりの生活スタイルにあわせた対処方法を患者さんと一緒に考えています。私は看護保健指導室で退院後の患者さんと長期にかかわる機会が増えてから、患者さんにとって入院や手術は通過地点であって退院してからが本番なのだとことを実感しています。日々の生活の中で皮膚トラブルやお困りのことがないか、プライバシーに配慮した個室で時間をかけてお話を伺ったり疑問にお答えしたりしながら、少しでも不安が軽減し、安心して生活が送れるようなお手伝いができればと思っています。

入院中の患者さんのケアでは、ストーマ以外に褥瘡予防にも力を入れています。入院中の患者さんには、治療に伴う行動制限や病状に伴う活動低下など褥瘡を発生しやすい状況にある方も多くいらっしゃいます。病棟の看護師と協力し入院される全ての患者さんについて褥瘡の発生する危険性を検討し、必要に応じた予防対策を行っています。褥瘡が発生することで本来の病気の治療の妨げとなったり、入院期間が延長したりしないように努めています。



中尾敦子 主任

看護部 中尾 敦子

NICU・GCUの増床工事が完了しました

当院では分娩部門と未熟児・新生児部門が連携し、「安全なお産と早産児の後障害無き生存」を目標として分娩育成先端医療に取り組んでまいりました。そして、さらに充実した医療の提供をめざし、平成26年5月よりNICU(新生児特定集中治療室)・GCU(新生児治療回復室)各3床の増床工事を行い、12月よりNICU12床、GCU15床として稼働を開始いたしました。今後も胎児期から出生後まで継続した高度な医療を提供し、市民の皆さまの安心に貢献してまいります。

工事期間中は関係の皆さまにはご迷惑をおかけいたしました。また、当院の趣意にご賛同いただきご寄附のお力添えを賜りました皆様には心よりお礼申し上げます。



写真左上 NICU
写真左下 GCU入口
写真右 GCU

寄附顕彰～NICU・GCU増床のためのご寄附ありがとうございました～

個人

- | | | | | | |
|---------|---------------|---------|---------|-----------|--------------|
| 浅井 隼人 様 | 今枝 正行 様 | 荻野 高敏 様 | 嶋 康子 様 | 並河 英幸 様 | 山田 結月 様 |
| 天野 智広 様 | 井元千佳子 様 | 小野内進二 様 | 杉山 成司 様 | 林 繁昌 様 | 吉川こどもクリニック院長 |
| 安藤恒三郎 様 | 岩佐 充二 様 | 加藤 昌子 様 | 孝一 様 | 松永小児科医院院長 | 吉川 龍雄 様 |
| 井口 敏之 様 | ひらぎこどもクリニック院長 | 金山 学 様 | 鈴木 賀巳 様 | 松永 智幸 様 | よしだ小児科医院 |
| 石川 韶子 様 | 植田 昭仁 様 | 亀井 美智 様 | 寺田 明彦 様 | 安江 良三 様 | 吉田ゆかり 様 |
| 石川 直 様 | 大山 碩也 様 | 木戸内 清 様 | | 山口久美子 様 | |
| 伊藤 榮源 様 | | | | | |

法人・団体

志水こどもクリニック 様

(平成26年12月1日現在 五十音順 ご芳名の公表に同意された方)

管理部

名古屋市大病院

ホームページの検索方法の案内「名古屋市大病院」で検索

検索

クリック

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>



このQRコードをケータイで読みとると簡単にホームページが見られます。

名古屋市大病院さくらほっとNEWSへのご意見・ご感想をお寄せください。E-mailは hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp まで!

活動統計について

紹介患者数

月	25年度 (人)	26年度 (人)	増減 (人)	伸び率 (%)
4月	1,166	1,153	△ 13	98.89
5月	1,113	1,158	45	104.04
6月	1,027	1,066	39	103.80
7月	1,199	1,161	△ 38	96.83
8月	1,081	1,060	△ 21	98.06
9月	1,058	1,097	39	103.69
10月	1,127	1,222	95	108.43
11月	1,053	978	△ 75	92.88
12月	1,000	1,116	116	111.60
1月	975	1,053	78	108.00
2月	991	1,097	106	110.70
3月	1,154			
合計	12,944	12,161	371	

紹介率

月	25年度 (%)	26年度 (%)	増減 (%)	伸び率 (%)
4月	54.62	70.36	15.74	128.82
5月	50.70	69.57	18.87	137.22
6月	54.03	65.35	11.32	120.95
7月	54.65	65.67	11.02	120.16
8月	51.94	65.02	13.08	125.18
9月	55.42	66.83	11.41	120.59
10月	57.88	72.82	14.94	125.81
11月	59.36	71.68	12.32	120.75
12月	57.05	75.52	18.47	132.38
1月	53.92	72.63	18.71	134.70
2月	58.06	75.52	17.46	130.07
3月	56.82			
合計	55.23	69.95	14.72	126.65

$$\text{紹介率} = \frac{\text{紹介状持参患者数} + \text{救急車による搬入患者数(初診)}}{\text{初診料算定患者数} - \text{夜間又は休日に受診した患者数(初診)}}$$

逆紹介患者数

月	25年度 (人)	26年度 (人)	増減 (人)	伸び率 (%)
4月	920	1,140	220	123.91
5月	960	1,059	99	110.31
6月	920	1,133	213	123.15
7月	1,054	1,154	100	109.49
8月	1,129	1,166	37	103.28
9月	1,018	1,161	143	114.05
10月	1,107	1,197	90	108.13
11月	1,068	976	△ 92	91.39
12月	1,136	1,126	△ 10	99.12
1月	939	1,050	111	111.82
2月	1,056	1,125	69	106.53
3月	1,308			
合計	12,615	12,287	980	

逆紹介率

月	25年度 (%)	26年度 (%)	増減 (%)	伸び率 (%)
4月	39.91	62.47	22.56	156.53
5月	38.57	57.03	18.46	147.86
6月	43.83	62.22	18.39	141.96
7月	43.41	59.21	15.80	136.40
8月	48.71	63.93	15.22	131.25
9月	48.02	62.82	14.80	130.82
10月	52.09	65.20	13.11	125.17
11月	52.74	62.40	9.66	118.32
12月	58.86	64.86	6.00	110.19
1月	44.84	61.40	16.56	136.93
2月	55.64	68.35	12.71	122.84
3月	57.22			
合計	48.30	62.64	14.34	129.69

$$\text{逆紹介率} = \frac{\text{他院への紹介患者数(=診療情報提供料算定患者数)}}{\text{初診料算定患者数} - \text{夜間又は休日に受診した患者数(初診)}}$$

産科婦人科重点研修のポイント

- 1 診察の介助を経験しながら、基本的な産婦人科診療技術（内診や画像診断など）を習得できる。
- 2 生殖医療、周産期医療、婦人科腫瘍などの専門的先端医療の現場を体験することができる。
- 3 産科・婦人科に関連した、麻酔技術や未熟児・新生児の管理技術を学ぶことができる。

産科婦人科 重点研修プログラム

診療科概要

産科婦人科は女性がかかるすべての疾患を診断して治療する、女性のためのプライマリーケアを行う能力が必要です。外来や病棟及び名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンター（<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simneu/>）において、基礎能力を身につけた上で生殖医療、周産期、腫瘍などを専門として技術を習得していきます。特に全国に先駆けて行われた出生前診断・胎児治療および不育症（習慣流産）治療は多くの実績を残し、最近では着床前診断にも取り込んでいます。また、臨床遺伝医療部による遺伝性疾患に対する診断、カウンセリング、治療を学ぶことができるのも大きな魅力です。



専攻医（後期）研修について

「日本産科婦人科学会専門医」資格取得を目標に名古屋市立大学病院、東部医療センター、西部医療センター等をローテーションします。各々の施設の特徴を最大限に活用し生殖（不妊症・不育症）、婦人科腫瘍、出生前診断、内視鏡手術や周産期スキル等を習得するコースです。学会発表や論文作成の指導も受けられ、一般臨床からサブスペシャリティまで6年次以降のキャリアプランの“コンパス”になる“名市大産科婦人科スーパーローテートプログラム”です。

名古屋市立大学病院 産科婦人科専門医 スーパーローテートプログラム(例)

	前期(6ヶ月)		後期(6ヶ月)	
3年目(専攻医1年次)	周産期・出生前診断	名古屋市立大学病院	周産期	西部医療センター
4年目(専攻医2年次)	生殖(不妊症・不育症)	名古屋市立大学病院	婦人科内視鏡手術	東部医療センター
5年目(専攻医3年次)	婦人科腫瘍	名古屋市立大学病院	地域医療	臨床連携病院

◆産科婦人科重点研修プログラム



1年目に内科を6ヶ月間集中研修するなど、女性のためのプライマリーケア能力の基盤をしっかりと養います。多数の指導者のもと幅広い臨床研修を重ね、本来

であれば3年次の専攻医研修で経験する産科婦人科の基本的な手技を2年次に修得することができます。また、2年次からは指導医と共に主治医となり、患者さんに積極的に関わることができるのも大きな利点です。

Message

一生を捧げられる、大きなやりがいと喜びがある

一般的に産科婦人科の研修は、患者さんのプライバシーを配慮する部分が大いため、研修医が現場に介入するのは難しいとされています。しかし、私たちは患者さんとのコミュニケーションを良好に保ちながら、研修医について理解していただき、指導医と共に出産をとったり手術現場に入るなど、多くの現場経験ができるよう最大限に努めています。産科婦人科は大変といわれていますが、一生を捧げられる大きなやりがいがあり、男性医師も育児休業を取得しているなど、私生活も充実させることができます。2年間の研修が終わる頃には、産科婦人科医師としての大きなやりがいと喜びを見出していることを約束します。

先輩の声 やる気次第で、多くの現場を経験できる

内診やお産などがあれば、直ぐ呼んでいただけるなど、現場を多く経験することができます。もちろん、大学ならではの高度医療を学べるのも魅力です。自分のやる気次第で自分の思う研修ができます。医局の雰囲気もすごくフランクで楽しく、毎日が充実しています。



平成23年度プログラム 大谷 綾乃



名古屋市立大学病院
産科婦人科 松川 泰

□産科婦人科重点プログラムスケジュール(例)

1年目	内科 (5ヶ月) 大学		内科 (1ヶ月) 東部	救急 (2ヶ月) 大学	救急 (1ヶ月) 東部	産科婦人科 (1ヶ月) 西部	外科 (1ヶ月) 大学	麻酔科 (1ヶ月) 大学
2年目	産科婦人科 (1ヶ月) 大学	小児科(NICU) (1ヶ月) 大学	地域 (1ヶ月)	耳鼻科 (1ヶ月) 大学	産科婦人科 (1ヶ月) 大学	選択 (4ヶ月) 大学	産科婦人科 (1ヶ月) 西部	産科婦人科 (2ヶ月) 大学

○内科研修・外科研修は、名古屋市立東部医療センターを含めた連携（協力型）研修病院にて実施することも可能 ○宿日直研修は、各研修病院にて実施
○選択必須は外科・麻酔科・精神科・小児科から1診療科以上を選択

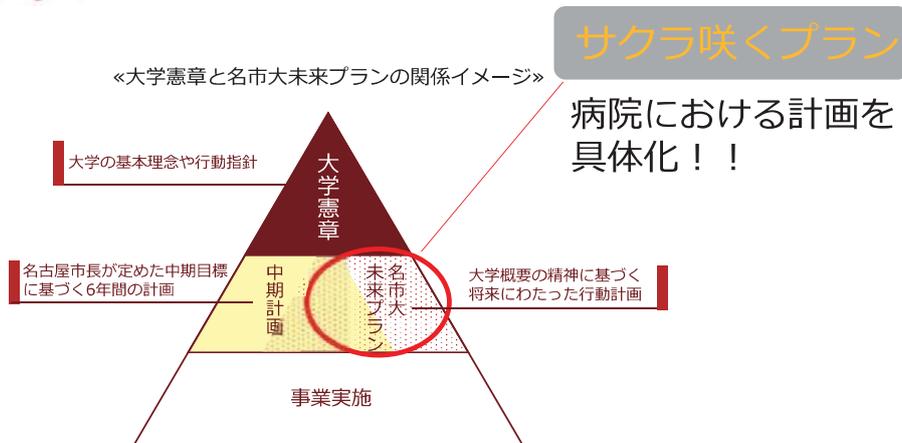


サクラ咲くプラン

市民に信頼され、職員が誇れる
地域で最も存在感のある病院をめざして

NCU NCU-Hospital 2014.11

サクラ咲くプランとは



サクラ咲くプランがめざすもの

高度急性期病院としての 医療提供体制の整備

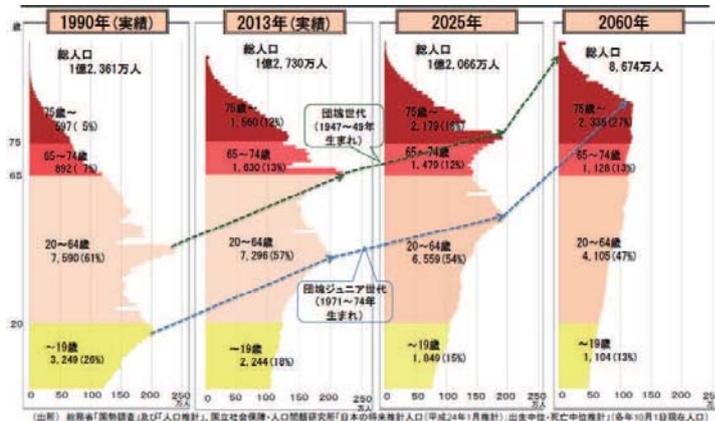
- 今年から：できるところから順次改善、意識の改革
- 4年後には：成長経営へ向けた病院の変革を実現
- 10年後には：地域でトップレベルのブランド病院を確立

職員の皆さんには、
これから始まる病院改革に是非ご理解とご協力をお願いします

2 Sakura-Saku

今後の人口動態

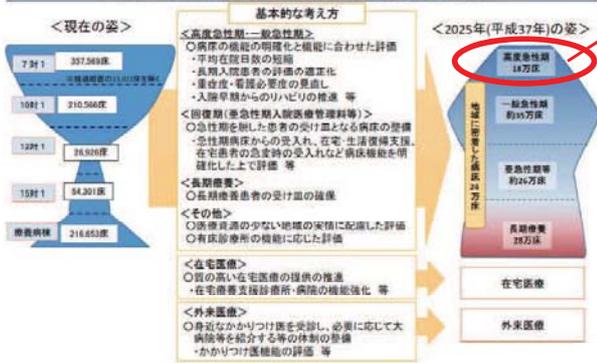
- 団塊の世代が全て75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。
- 2060年には、人口は8,674万人まで減少するが、一方で65歳以上は全人口の約40%となる。



Sakura-Saku 3

病床機能の分化と特定機能病院の要件

「次期診療報酬改定における社会保障・税一体改革関連の基本的な考え方」(概要)
 (平成25年9月6日 社会保障審議会 医療保険部会・医療部会)



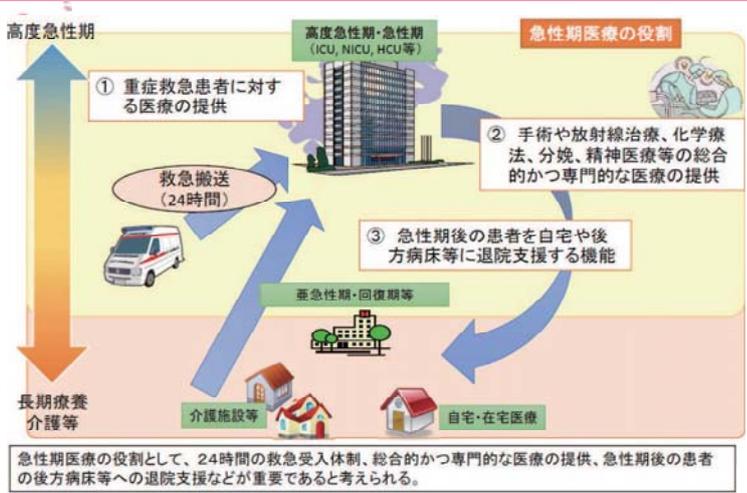
名古屋医療圏でも
淘汰!?

標準科の見直しや専門医の配置、紹介率・逆紹介率、英語論文数、研修統括者の配置などが新たに要件化され、今後は、特定機能病院の更新制度の導入や、主導的な臨床研究や医師主導治験の数値目標について要件化される見通しである。

《機能区分》

高度急性期機能
急性期機能
回復期機能
慢性期機能

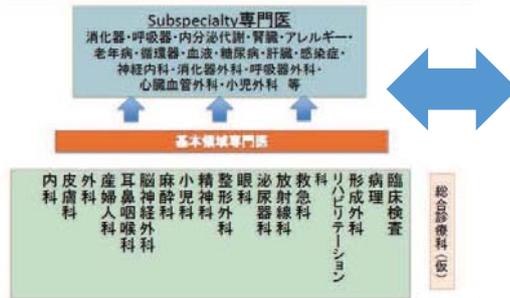
急性期医療を担う医療機関の役割 (イメージ)



新たな専門医制度と教育体制

新たな専門医制度の基本設計
 専門医制度の2段階制化と標準化

新たな専門医制度の基本設計



制度の標準化に伴う

- 診療・教育制度の整備
- 後期研修制度の充実

SWOT

【強み】

- 医療機器・システム等の高度診療施設
- 6学部7研究科を有する総合大学としての多様性
- 第三者認証評価に裏づけされた質の高い医療
H25病院機能評価認定 (機能種別版3rdG Ver.1.0)
- 患者アクセスが良好



【機会】

- 高齢化による医療需要の増加
- 名古屋市医療施設との連携による包括的医療の提供
- 社会保障・税一体改革による各種補助金
- 成長戦略における各種補助金

【弱み】

- 施設投資の遅れ
- 人員配置の硬直性
- 組織体制の未充足 (人員・組織)

【脅威】

- 県内他大学病院の改築と機能強化
- 近隣病院との競合、シェア争い
- 高度急性期病院のハードルアップ
- 医療費縮減政策

当院の今後の経営戦略

MISSION

VISION

名古屋立大学病院

理念

基本方針

笑顔と感動にあふれる病院を目指します

高度急性期病院としての医療提供体制の整備

サクラ咲くプラン

8 Sakura-Saku

サクラ咲くプラン-コンテンツ

市民の医療ニーズに対応した医療提供体制の強化	臨床研究の強化による新しい医療の創出	安定経営のための経営改革の推進
		
高度医療提供のための病院施設等の再整備	地域社会を担う優れた医療人の育成	東部・西部医療センターとの連携強化による名古屋市全体の医療機能の充実
		

Sakura-Saku 9

主な施策(特徴)



ESCO: 省エネルギー改修工事等にかかる費用を光熱水費等の削減分で賄う事業
 JCI: 国際基準の第三者評価

新たな組織

★ 新たな組織設置 ←..... 視点

- 形成外科の設置
- リハビリテーション科の設置
- 救急科の設置
- 内視鏡医療センター(仮称)の設置
- 地域医療連携・入退院支援センター(仮称)の設置
- 不育・不妊センター(仮称)の設置
- アイセンター(仮称)の設置
- ロボット手術センター(仮称)の設置

- 新たな専門医制度への対応
- 特定機能病院承認要件への対応
- 入院に特化した医療提供体制の整備
- 対外的イメージ戦略

機構改革検討委員会報告書より

新たな施設整備

★ 新たな施設整備

視点

- 手術室拡張
- ICU拡張・HCU新設
- 内視鏡室の拡張
- 地域医療連携・入退院支援センター(仮称)
- アイセンター新設
- 新棟【さくらタワー(仮称)】建設

- 手術需要への対応
- 特定機能病院承認要件への対応
- 高度急性期医療の提供
- がん患者増加への対応
- 抜本的機能強化

施設整備計画検討委員会報告書より



職員が輝ける病院へ

フレキシブルな人員配置

- ・教授(准教授級)、病院助教の制度化
- ・事業収益対象職員の配置
- ・柔軟な勤務形態の設置
- ・クラークの配置

メディカルスタッフ充実

- ・メディカルスタッフ統括部門の設置
- ・病棟薬剤師配置加算の取得に向けた人員増加
- ・生理機能検査機能の充実に向けた臨床検査技師の人員増加
- ・リハビリの早期介入に向けた人員増加
- ・高度医療の提供のための臨床工学技士の人員増加
- ・その他、医療提供体制の充実に伴うメディカルスタッフの増加



新たな制度

「医師補職体系」

教授
★教授(准教授級)
 准教授
 講師
 助教
★新 病院助教
 臨床研究医
 シニアレジデント

視点

- 優秀な人材の確保
- 診療体制の充実
- 処遇の改善

教授（准教授級）

学校教育法上：教授
 選考方法：学外公募
 ※制度化に向けて調整中

病院助教

学校教育法上：助教
 選考方法：病院部長会選考
 ※年俸制を採用
 ※平成27年度から制度化予定

育む病院へ

医療人の育成

- ★ 新たな専門医制度へ対応した教育研修システムを整備します
- ★ 学部と連携した教育研修システムを整備します
- ★ 卒前・卒後教育の一体化による医療人の育成を検討します
- ★ 優秀な人材を採用するための人材アドミッションポリシーを策定します
- ★ 医療技術職や事務職の人材育成制度について、体系化を図ります

新たな研究分野の設置

- ★ 医療系3学部と他学部との連携により医工学分野、医療経済学分野の設置を検討します
- ★ 臨床関連分野における新たな寄附講座、連携大学院等の設置を推進します
- ★ 産学官連携や外部資金の獲得に向けたプロジェクトを設置します
- ★ 研究担当副病院長を設置します

医療人育成センター

研修医・専門医支援

看護師育成支援

コメディカル育成支援

事務職員育成支援



働きがいのある病院へ

ブランドカUP！！

- ★イメージ戦略部門設置
- ★報道機関への積極的アプローチ



- ★国際化標準（JCI取得）



モチベーション向上！！

- ★各種資格手当の充実



- ★職員アメニティ
 - ・職員食堂リニューアル
 - ・フィットネス、リラクゼーション



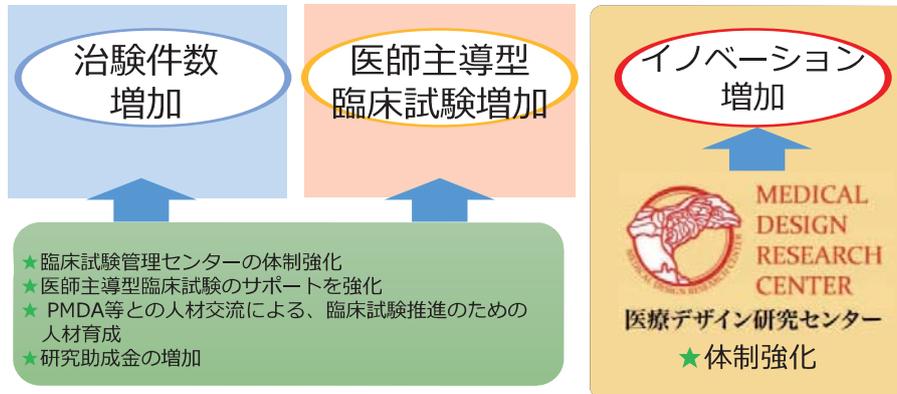
頼れる病院へ

NC 名古屋市立大学病院
Nagoya City University Hospital



- ★複数のDMAT派遣チームを整備します
- ★災害医療に関する設備・備品等を充実を図ります

研究する病院へ



18 Sakura-Saku

経営基盤の強い病院へ

連携強化

- ★ 地域医療機関訪問の全体実施
- ★ 地域連携システムの導入
- ★ 救急医療に関する連携・機能分化（救急）
- ★ 病院局との連携会議開催
⇒材料共同契約・人事交流



寄附の増加

- ★ 事務組織に募金担当を設置します
- ★ 企業や銀行等に向けた募金活動を行います



Sakura-Saku 19

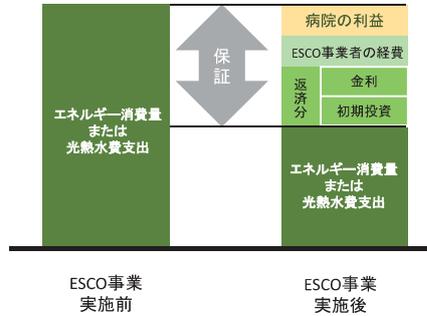
経営基盤の強い病院へ

- ★委託業務の質向上による患者サービス改善
- ★物流のカイゼンによる在庫削減
- ★ESCO事業導入による光熱水費削減
(H30年度開始目標)

【委託業務とのパートナーシップ】

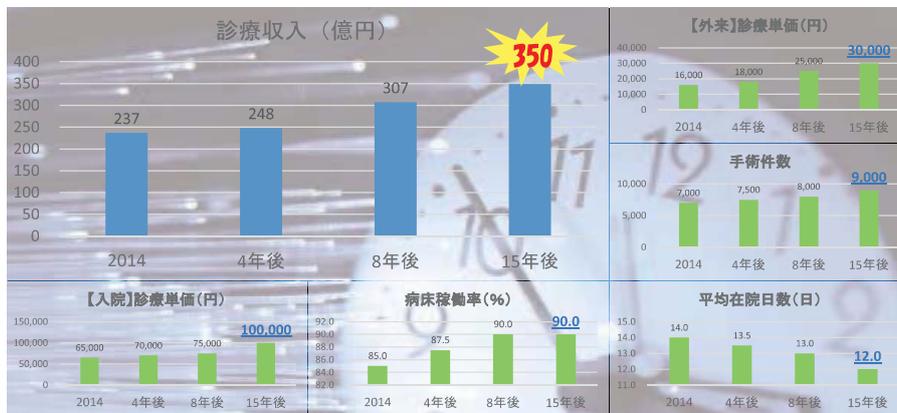


【ESCO事業概要】



20 Sakura-Saku

未来のパフォーマンス



Sakura-Saku 21

まとめ

本計画サクラ咲くプラン（以下、本プラン）の名称は職員からの公募により選ばれましたが、まさに新たなスタートを切る我々の気持ちを生き生きと表現してくれたと感じています。

本プランは、ご存知のとおり平成26年度に全学を挙げて策定された“名市大未来プラン”を病院版として特化させたものです。

国の医療費削減や患者ニーズが多様化するなか、当院は弛まぬ努力により継続的な発展を遂げて参りましたが、名市大未来プランの策定を契機に中長期的な視点で“我々自身の今後のあり方”と改めて向き合い、ヒアリングによる意見交換等を重ね、ここに私たちの未来を描くことができました。

日々激変する医療を取り巻く環境を踏まえて、今後を見据えた施策や経営資源の配分を計画的に示しておりますので、職員の皆さんと共有し当院が今後進むべき道標として参ります。

本プランの実現は決して容易いものではありませんが、職員一人ひとりが同じ方向に向かって全力を発揮すればできないことは決してないと考えています。共に未来の実現を体感して参りましょう。

病院長 城 卓志

いままで見たこともないものを創る
Create the articles which we have never seen till now

FormGebung

Give a form to the conception which is not visible.

MEDICAL DESIGN RESEARCH CENTRE

センターの目的

センターは、医療分野における革新的機器、システム等の研究開発、臨床研究およびこれらの推進に必要な人材の育成を実施するオープンイノベーション観点として、医療福祉環境の向上と地域社会の発展に貢献することを目的とする。

The purpose of a centre

A centre aims at contributing to improvement in medical welfare environment, and development of a community as an open innovation base, which raises talented people required for research and development of the innovative apparatus in a medical field, a system, etc., clinical study, and these promotion.

センターの事業

- 研究・開発事業
 - 臨床導入の橋渡し、臨床試験の支援
 - 研修会、講演会、ワークショップ等の開催
 - コンサルティング及び製品開発支援
 - 補助金事業等の申請及び支援
 - その他センターの目的に資する事業
- The enterprise of a centre
- Research and Development Work
 - Mediation of Clinical Introduction, Support of Clinical Test
 - Holding of Study Session, Lecture Meeting, Workshop, Etc.
 - Consulting and Product Development Support
 - Application and Support of Subsidy Enterprise Etc.
 - Enterprise Which Contributes to Purpose of Other Centres



MEDICAL DESIGN RESEARCH CENTRE

名古屋市立大学病院

医療デザイン研究センター

MEDICAL DESIGN RESEARCH CENTRE

医療分野における革新的機器、システム等の研究開発、臨床研究、これらの推進に必要な人材の育成を実施するオープンイノベーション観点
Innovative apparatus in the Medical field, Research and development of the system etc. Clinical study / MEDICAL DESIGN RESEARCH CENTRE is The open innovation base which raises talented people required for these promotion.



DESIGN + MEDICAL

医療デザイン研究センター

[MEDICAL DESIGN RESEARCH CENTRE]の使命は、先端デザイン領域からのアプローチにより、医療ヘルスケア分野においての諸問題の実践的な「解決」と、困難な状況の「克服」を目指す、医療ヘルスケア産業のこれからのビジョンを明確にし、明確なゴールを形成していくことです。そして医療ヘルスケア分野においての基礎課題と、社会課題への対応を、オープンプラットフォーム型の新しいカタチの産官学の融合により進めていく次世代型の研究センターです。

医療を熟知した医師の知と、インジブルな未来をイメージできるデザイナーの知と、製造へつなぐエンジニアの知が統合されることにより、人間の医療環境が革新できると考えます。現状の医療機器から、より先進的に精緻な未来形を創り出すために、いま産官学の具体的な共創が必要であると考えます。

このオープンプラットフォーム計画は「経済産業省：地域オープンイノベーション促進事業のうち大学におけるオープンプラットフォーム構築支援事業」に採択され、「現場に直結した医療デザイン研究による医療機器開発支援と開発型産業界人材の育成」を進めています。

- 名古屋市長 菅 義偉 氏
- 名古屋大学 理事長・学長 郡 健二 氏
- 名古屋大学 病院 院長 城 卓志 氏
- 医療デザイン研究センター 長 國本 桂史 氏
- 医療デザイン研究開発機構 長 大塚 隆信 氏

The mission of MEDICAL DESIGN RESEARCH CENTRE is that the practical "solution" to "problems" in the field of medical health care, "the conquest" of the difficult situation and to make vision of the medical healthcare industry in the future clear and establish a specific goal by the approach from the tip design domain.

And it is a next-generation research centre progressing the correspondence to the basic problem and a social problem in the field of medical health care by the fusion of the industry-government-university of open platform-shaped new form.

I think that we can perform innovation of human medical environment by unify the intellect, the intellect of doctor who knows medical well, the intellect of designer who can image the invisible future and the intellect of engineer who connect to the production. I think that it is necessary the specific and strategic co-creation of industry-government-university to create the advanced and exact future form from the present medical equipment.

This open platform plan is adopted by "Ministry of Economy, Trade and Industry; open platform construction support project in the university among local open innovation promotion project" as "the product development support type medical design research, and the training of development-type medical industry person" and advance the operation.

MEDICAL DESIGN RESEARCH CENTRE
Centre Head Prof. KUNIMOTO Katsushi

名古屋市立大学病院

医療デザイン研究センター

MEDICAL DESIGN RESEARCH CENTRE

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>

〒467-8602

名古屋瑞穂区瑞穂町字川邊 1 番地

名古屋市立大学病院 医療デザイン研究センター

TEL: 052-853-8440

FAX: 052-851-4801

e-mail: mdrcc@med.nagoya-cu.ac.jp

想像する創造

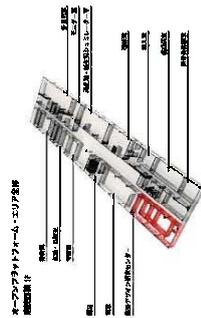
新しい医療産業の「場」が始まる

新しい医療機器開発の拠点
医療デザイン研究センター
がスタートします。

MEDICAL HEALTH CARE CARE NURSING

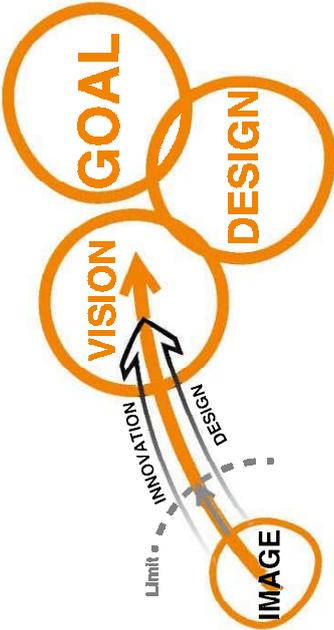
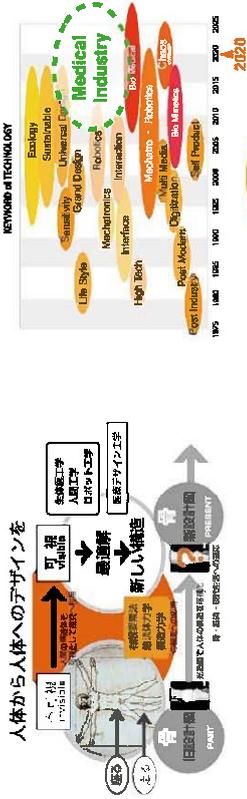
これらを統合的に研究開発出来る場として運用します。

医療デザイン研究センター

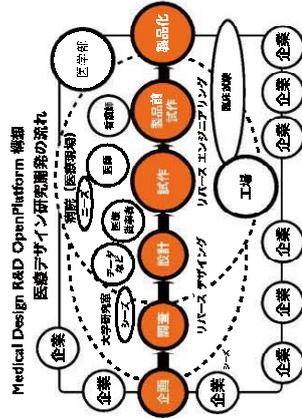
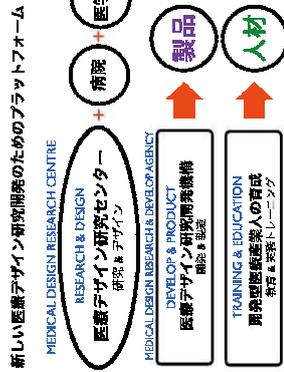


MEDICAL DESIGN RESEARCH CENTRE

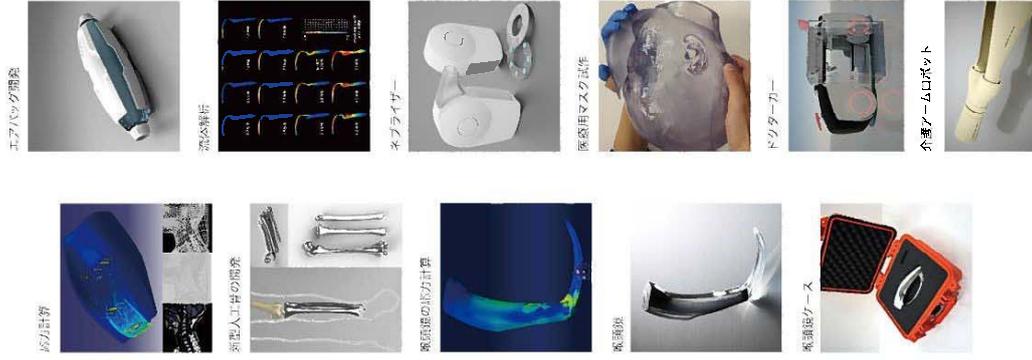
医療デザイン研究センターが創る未来 The Future which the Medical Design Research Centre creates



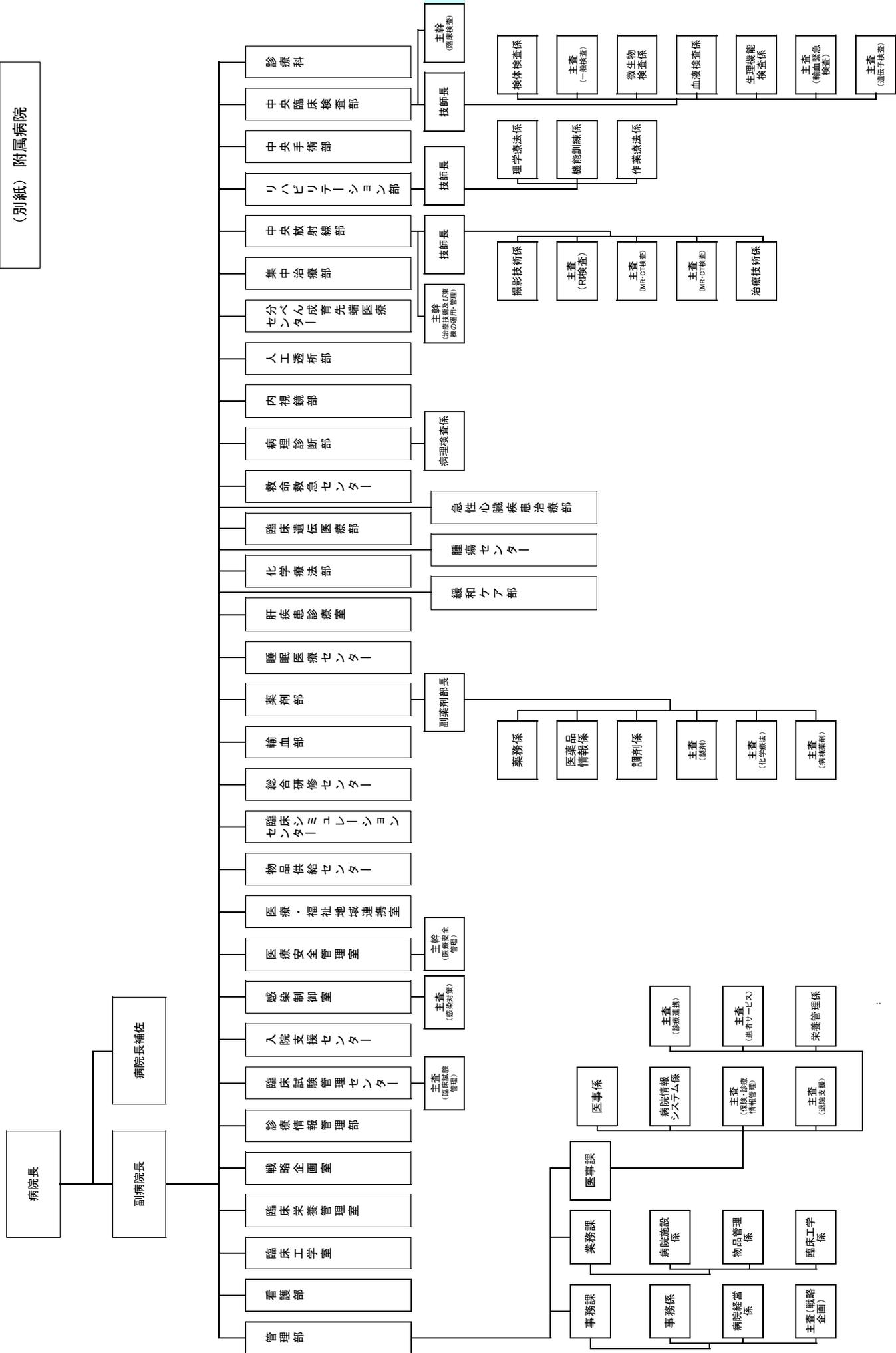
産官学連携により医療研究開発事業を推進するために、
医療デザイン研究センターのもとに
企業が参加する医療デザイン研究開発機構を設置します。
In order to promote various enterprises on the basis of industrial, administrative and academic sectors cooperation, the medical design research-and-development mechanism in which a company and administration participate in the basis of a centre is installed.



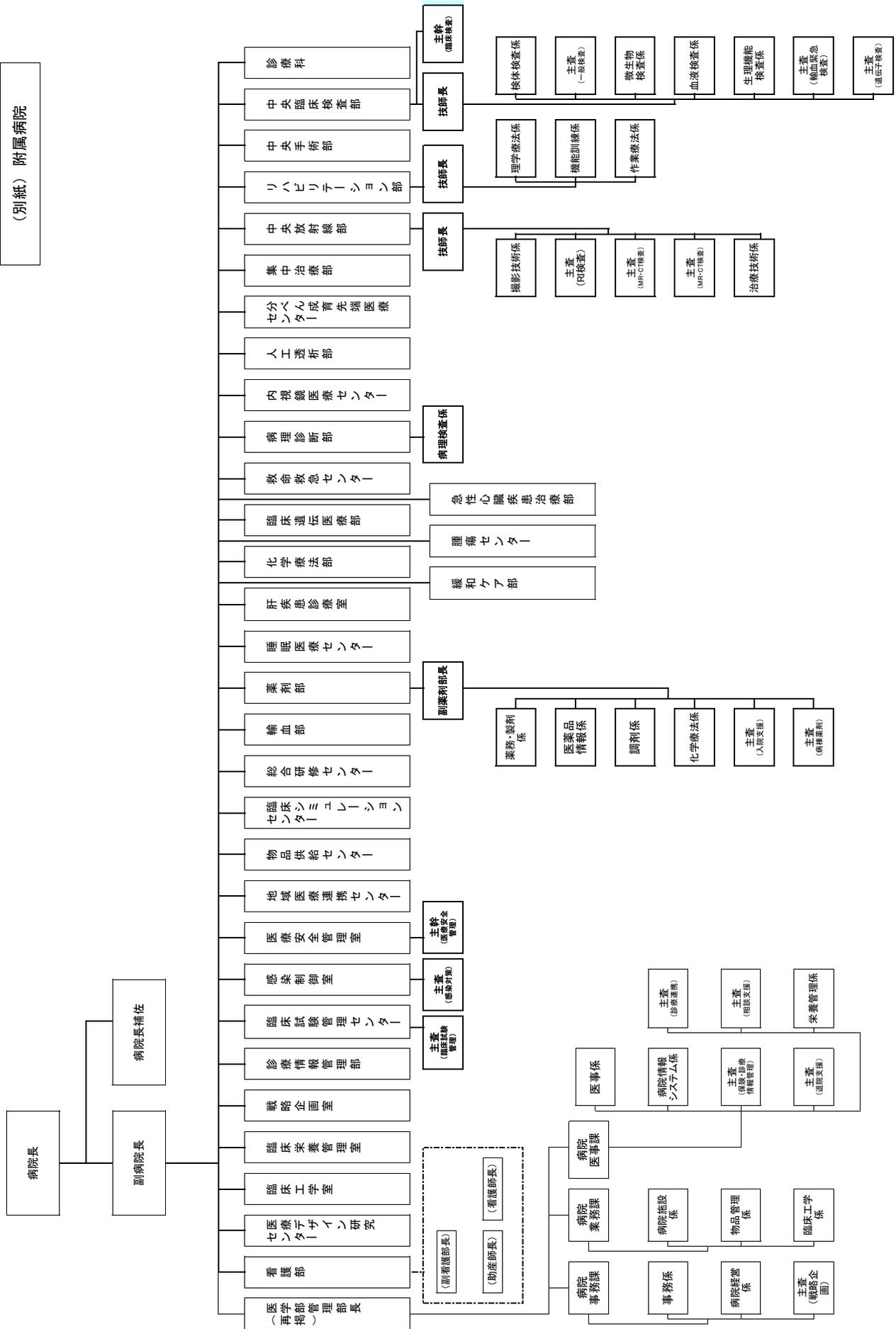
RESEARCH & DEVELOPMENT



多くの開発プロジェクトを進めています。



(別紙) 附属病院



教員の所属別・補職別・性別比率について

(平成27年4月1日現在員)

所 属		教授	准教授	講 師	助教	助手	計
医学研究科		45	46	60	177		328
	男 性	42	43	47	136		268
	比率%	93.3	93.5	78.3	76.8		81.7
	女 性	3	3	13	41		60
	比率%	6.7	6.5	21.7	23.2		18.3
	基礎	21	11	15	21		68
	男 性	20	9	8	13		50
	比率%	95.2	81.8	53.3	61.9		73.5
	女 性	1	2	7	8		18
	比率%	4.8	18.2	46.7	38.1		26.5
	臨床	24	35	45	156		260
	男 性	22	34	39	123		218
	比率%	91.7	97.1	86.7	78.8		83.8
女 性	2	1	6	33		42	
比率%	8.3	2.9	13.3	21.2		16.2	
薬学研究科		17	14	13	20		64
	男 性	17	14	10	16		57
	比率%	100.0	100.0	76.9	80.0		89.1
	女 性	0	0	3	4		7
比率%	0.0	0.0	23.1	20.0		10.9	
経済学研究科		17	16	5		5	43
	男 性	16	12	2		0	30
	比率%	94.1	75.0	40.0		0.0	69.8
	女 性	1	4	3		5	13
比率%	5.9	25.0	60.0		100.0	30.2	
人間文化研究科		23	17	1			41
	男 性	15	12	0			27
	比率%	65.2	70.6	0.0			65.9
	女 性	8	5	1			14
比率%	34.8	29.4	100.0			34.1	
芸術工学研究科		16	12	0	1		29
	男 性	13	11	0	1		25
	比率%	81.3	91.7	-	-		86.2
	女 性	3	1	0	0		4
比率%	18.8	8.3	-	-		13.8	
看護学部		10	9	5	10	1	35
	男 性	3	0	0	4	0	7
	比率%	30.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0
	女 性	7	9	5	6	1	28
比率%	70.0	100.0	100.0	60.0	100.0	80.0	
システム自然科学研究科		12	9	1	1		23
	男 性	11	8	1	1		21
	比率%	91.7	88.9	-	100.0		91.3
	女 性	1	1	0	0		2
比率%	8.3	11.1	-	0.0		8.7	
大学付		1			1		2
	男 性	1			0		1
	比率%	100.0			0.0		50.0
	女 性	0			1		1
比率%	0.0			100.0		50.0	
合 計		141	123	85	210	6	565
	男 性	118	100	60	158	0	436
	比率%	83.7	81.3	70.6	75.2	0.0	77.2
	女 性	23	23	25	52	6	129
比率%	16.3	18.7	29.4	24.8	100.0	22.8	

役員4人(学内教員 医1・薬1・経1・人1 各教授)は含まない。
外国人教師(人文社会学部)7人は含まない。